

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

庄内快適住宅

グループの名称

庄内の『快適な家』を造る研究会

直近採択グループ番号

06-0596-0126

(グループ代表者)

代表者名

五十嵐 良二

代表者印

代表者所属先

五十嵐工務店

代表者所在地

山形県鶴岡市みどり町21-4

代表者電話番号

0235-22-7092

(グループ事務局)

事務局事業者名

阿部多 株式会社 酒田営業所

事務局担当者名

藤島 みのり

印

事務局郵便番号

998-0832

事務局所在地

山形県酒田市両羽町4-15

事務局電話番号

0234-26-7011

事務局FAX

0234-26-7012

事務局担当者E-mail

m.fujishima-s@abeta.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	事務局が募集し、契約状況・着工期日を確認の上配分する。 申請希望が配分戸数を上回った場合は、未経験の施工事業者を優先し話し合いの上決定する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	棟	戸			
採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 庄内快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県庄内地域等
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 庄内の『快適な家』を造る研究会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0596-0126	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	断熱性能の強化及び寒暖差による劣化の軽減を図る。 冬季の対策として気密性の強化と計画換気を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	山形県が地域ごとに定めた耐雪基準を満たす構造とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	軒の出・屋根は、夏季・冬季の日射を考慮し、庄内地域に適した形状(パッシブデザイン)の住宅とする。	○
④①～③の背景	日本海と羽羽三山の間に広がる庄内地域は寒暖の差が大きく、夏季は高温多雨、冬季は日射が少なく暴風雪の日が多い地域で、この厳しい環境の中で快適に暮らす良質な住宅の供給を目指す。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ストック型社会に対応するため、住宅の履歴情報の蓄積管理とリフォームにおける断熱・気密の技術向上に積極的に取り組む。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材及び開口部等、外皮に関する建材の仕様を統一する。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 25年省エネ基準を上回る建物とする。	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局で物件情報を把握・集約し、共同購入によるコストダウンを目指す。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 発注から納品までのデリバリーを管理する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 会長・事務局担当・会員4名で構成 4回実施	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 資材に関する情報を施工・設計メンバーに共有すると共に、物件情報を流通メンバーへ提供し効率の良い納材をする。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 構造・断熱・気密に関する施工基準を設ける。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: チェックシートを使い、運営委員会で確認する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ホームページの活用。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	■ ない □ ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 熟練技能者の認知度を高め、処遇の改善を図る。	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: グループでメンバーの加入状況を把握し、未加入メンバーの加入を推進する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 安全講習会の開催。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 庄内快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県庄内地域等	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 庄内の『快適な家』を造る研究会	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0596-0126		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年間の住宅履歴情報を蓄積・管理する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンター等、第三者機関を活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員会によるチェックを実施。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インспекション・ガイドライン等を活用し、各施工業者が点検を実施する。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンスシートに沿ってチェックし、必要な箇所を補修する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検、補修後にメンテナンスシートを運営委員会に提出し確認する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターを講師に年1回実施。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主幹の体験会を年1回実施。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主幹でリフォーム相談・困りごと相談会を年1回実施。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員会の中で維持管理委員会を設置し、年2回開催する。	○	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工メンバーが困難な場合には代行サービスを利用する等、確実な点検実施を義務づける。	○	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員がお客様へ対応。他メンバーを紹介・引継ぎを行い、継続的な維持管理をする。	○
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社を講師に年1回実施。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術研修会を外部及びグループ構成員を講師に年2回実施。	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通のチェックシートに基づいた管理。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: チェックシートを運営委員会へ提出し確認する。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各種計算・申請手続・技術指導等のサポートを行い、全施工メンバーの需給を目指す。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー等外部講師による研修会を行い、段階的な技術向上を図る。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計・流通・施工各メンバー相互の改善、合理化案を取りまとめ、共有化する。	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 47 今年度の参加目標人数 20	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 30 今年度の参加目標人数 10		○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で情報を発信し、参加を促進する。		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部講師・メーカー等による研修会・現場実習の実施。	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンバー内で導入現場の検討→実施→報告→検証する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 庄内快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県庄内地域等												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 庄内の『快適な家』を造る研究会	(結成年) 2015年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0596-0126													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	主要構造材並びに2次部材に山形県産材又はグループ指定の地域材(各合法木材・各認証木材)を使用する。												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	柵、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>・可能な限り山形県産材(県産やまがたの木)を第一優先とし、次にグループ指定の地域材を使う。 ・施工グループが全て手刻みによる加工を行う場合、地域材を直接製材グループから購入することが出来る。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 在庫量に変動がある場合は、製材事業者から各構成員に連絡する。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 価格に変動がある場合は、製材自称者から各構成員に連絡する。												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局で得た情報を定期的に各構成員へ発信する。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定数(1畳換算): 60枚												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定数: 100坪												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定数(3×6換算): 36枚												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定数(3×6換算): 36枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今後検討予定												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今後検討予定												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今後検討予定												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 通風の確保を考慮した設計をする。												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 設計段階で近隣の住宅を考慮し、町並みにあったデザインを推奨する。												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 縁側・畳コーナー等、和の要素を取り入れる提案をする。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	施工メンバーの協力業者は、可能な限り地元の職人に仕事を依頼し、地域の活性化に寄与する。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	復興住宅の建築にあたり職人派遣の依頼があった場合、グループとして協力していく。													
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 庄内快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県庄内地域等
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 庄内の『快適な家』を造る研究会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0596-0126	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <p style="text-align: center;">庄内の『快適な家』を造る研究会が取り組む住宅の特徴と性能 特徴: 山形県産材を主とする地域材を使用。断熱性・耐久性・省エネ性に優れ、住む人のライフスタイルを考慮した快適な家</p> <p>庄内快適住宅 高度省エネ型住宅の特徴 *太陽光発電システムの容量に頼らず、住宅自体の断熱性能を重視した住宅</p> <p><ゼロ・エネルギー住宅> *外皮性能の強化及び高効率設備機器・太陽光発電システムの採用により、年間一次消費エネルギーが実質的にゼロの住宅 (平成28年改正基準-BELSによる性能評価)</p> <p>性能 1.断熱性能 外皮平均熱貫流率 UA値 3地域0.48w/m²k以下 4地域0.56w/m²k以下とし、可能な限り0.4w/m²k以下を目指す 2.気密性能 C値 2.0cm/m²(目標1.0cm/m²以下) 3.換気計画 第1種及び第3種換気システムを採用 4.高効率設備の採用 5.LED照明機器の採用 *太陽光を除いた一次消費エネルギー削減率 Ro 30%以上(3地域・4地域) *蓄電池・HEMSの導入を推進</p> <p><認定低炭素住宅> 性能 1.断熱性能 外皮平均熱貫流率 UA値 3地域0.56w/m²k以下 4地域0.75w/m²k以下 2.気密性能 C値 2.0cm/m²を目指す 3.換気計画 第1種または第3種換気システムを採用 4.高効率給湯設備の採用 5.LED照明機器の採用 *一次消費エネルギー削減率 Δ10%以上(20%目標)</p> <p><性能向上計画認定住宅> 性能 1.断熱性能 外皮平均熱貫流率 UA値 3地域0.56w/m²k以下 4地域0.75w/m²k以下 2.気密性能 C値 2.0cm/m²(目標1.0cm/m²以下) 3.換気計画 第1種または第3種換気システムを採用 4.高効率給湯設備の採用 5.LED照明機器の採用 *一次消費エネルギー削減率 Δ10%以上(20%目標)</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。